

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	学校給食センター整備事業			
予算科目	10 款 6 項 4 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとつづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課:	学校教育課	電話番号(内線):	726
記入者情報	所属長:	田中 浩	担当責任者:	大西 昌治
実施期間	【開始年度】平成 年度 【開始年度】平成25年度			
事業の対象	中山幼稚園園児・教師、市内小学校児童・教師、市内中学校生徒・教師等			
事業の必要性	施設老朽化や少子化、厳しい財政事情を背景として、安全で美味しく栄養豊かな学校給食を恒常的に提供するという使命を、高度に達成する施設を建設する必要がある。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	大平地区
運営方法	【運営方法】	直営	【運営費(予定)】	
事業の目的	学校給食提供施設を1元化し建設する。			
事業の内容	学校給食センター及び各学校配膳室の建設			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	昨年度、南山崎小学校南側の用地を建設地として、地権者及び地元関係者に理解をいただいた。今年度から、建物新築工事及び土地造成工事の実施設計に着手し、事業認定、用地買収等の事業を進めていくことになるが、スケジュールのとおり進捗できるよう努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	2,777	22,905	3,352	73,336
	人件費	1,599	8,135	4,067	8,135
	合計	0	31,040	7,419	81,471
人件費 内訳	人工数	0.20	1.00	0.50	1.00
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,599	8,135	4,067	8,135
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	29,000	0	73,336
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,376	2,040	7,419	8,135

実施スケジュール							
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
基本設計(建物)	6,615						
用地買収・物件補償		60,396					
実施設計(土地・建物・配膳室)		34,492	10,413				
工事施工(土地・建物・配膳室)			296,675	990,675	78,750		
厨房機器購入				441,000			
年度別事業費	6,615	94,888	307,088	1,431,675	78,750		
財 源	国・県支出金						
	地方債						
	その他		90,000	29,000	418,000		
	一般財源	6,615	4,888	278,088	1,013,675	78,750	
国・県支出金等名称	安全・安心な学校づくり交付金						

成果指標				
成果指標	事業進捗率			
指標設定の考え方	工定表に基づく事業進捗を遵守する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標25年度
目標	100%	-	-	100%
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	懸案事項であった用地買収については、土地所有者の理解をいただくことができ計画どおり進めることができ、土地造成工事及び建物新築工事についても、委託業者との協議を経て、ほぼ計画どおり進捗することができた。来年度以降は造成工事・建物新築工事、配膳室計画の推進のほか、新センターの運用方針を長期的に進めていこととなるが、計画が遅滞することのないようスケジュール管理を行うとともに、地元関係者、学校関係者、保護者との連携を図り、新センターに移行するにあたり、トラブル等が発生しないよう対応していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	用地買収が予定通り完了したので、来年度以降は造成工事・建物新築工事、配膳室計画の推進のほか、新センターの運用方針を決定して、新センターへ移行を円滑にする必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	施設の整備とともに、職員配置計画、食材の購入方法、配送計画、アレルギー対応基準など管理運営体制を早急に確定する必要がある。外部評価委員会による外部評価抽出事業につき、外部評価に付する。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・1か所にまとめることにより、子どもにとって給食調理が絶対安全だという担保はあるかと心配になった。 ・工事はスケジュールどおり進めていただきたい。伊予市は食育の推進、地産地消についても方針案に盛り込まれている。供用開始以降にはなると思うが、学校と地域のつながりを生かすことが大事だと思う。教育的な意味合いを十分配慮して進めていただきたい。 ・大規模な災害が起きた際の避難所、炊き出しについても十分配慮いただきたい。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	